

ROTOBO

Connecting Markets

ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会

2024年(令和6年)7月5日号 No.1962

目次

■ 2023年のロシアの主要経済指標	1
■ 『ロシアNIS調査月報』2024年7月号のご紹介	8
■ トピックス	9
日本政府、ウクライナ国民のビザ発給要件を緩和／9	
米欧、サハリン2の価格上限適用除外を延長／9	
EU・ウクライナ 安保協定に署名／9	
EU、対ロ制裁を拡大／9	
双日、ウズベクに事務所を開設／9	

2023年のロシアの主要経済指標

はじめに

昨年1年間のロシア経済はどうだったのか。今号では、2023年のロシアの主要経済指標を図表にまとめてお届けする。

概況

2023年のロシアの国内総生産(GDP)は、引き続き戦時下であるにもかかわらずプラス3.6%となり、前年のマイナス1.2%から一転、プラス成長となった。四半期別では、2022年の第2四半期からマイナス成長が続いていたが、2023年第2四半期にプラス5.1%になってから、3四半期連続でプラスとなった。

主要経済指標をみると、2023年はいずれの項目からも好調な様子がうかがえる。まず固定資本投資は、前年から9.8%の伸びを示した。とくに第2(13.3%)、第3(14.5%)四半期に対前年同期比で大きな伸びとなっており、投資の増加が経済回復を後押しした。また住宅建設は7.5%、商品小売販売高は6.4%の伸びとなった。住宅建設は2023年第4四半期に30.3%の伸びとなり、2022年第2四半期から続いた停滞傾向から好転した。主要経済指標のうち、前年を下回ったのは、農業と一般貨物輸送の2つにとどまった。

鉱工業部門別の生産増減率を見てみると、金属加工が対前年比で27.8%、電気機器が同19.0%の伸びを示した。月別にみると、電気機器が2023年12月にマイナスとなったものの、いずれの部門も対前年同月比で10~40%の伸びを示す月が続いた。とくに第2、第3四半期に大きなプラ